金融商品取引法Ⅱ

科目ナンバリング　NFL-304
選択必修　　2単位

首藤　　優

1. 授業の概要（ねらい）

連日、東京証券取引所の日経平均株価がニュースで報じられています。この東京証券取引所を代表例とする資本市場が、我が国の経済活動を支えています。国民の活発な資産運用を促し、企業の円滑な資金調達を確保するためには、健全かつ公正な資本市場が確立されている必要があります。そのために定められているのが金融商品取引法です。本講座では、金融商品取引法について説明していきます。
なお、本講座では、金融商品取引法に関する最新のニュース・事件について随時紹介・解説を加えるとともに、会社法等との比較も行いながら説明を加えていくことを予定しております。

2. 授業の到達目標

①民事法系を中心とする総合的な法律である金融商品取引法を理解し、その基本的なことを説明できるようになること。
②重要な論点や判例を理解し、説明できるようになること。
③金融商品取引法に関する事件・ニュースについて分析・検討し、解決を導き出せるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験+小テスト（2回実施予定）
期末試験：80%、小テスト：80%
授業内において解説あり

4. 教科書・参考文献

教科書
近藤光男他　『基礎から学べる金融商品取引法』〔第4版〕　弘文堂
参考文献
黒沼悦郎　『金融商品取引法入門』〔第8版〕　日本経済新聞社

5. 準備学修の内容

事前の段階で該当するテキスト部分を読み、疑問点等を洗い出し、ノート等にまとめてください。受講後には、授業内容（重要な論点等）をノート等にまとめるとともに、事前に洗い出した問題点等の解消を図ってください。

6. その他履修上の注意事項

会社法を履修済みまたは同時履修が望ましいです。
法律の解釈ですので、六法は必ず授業に持参してください。
授業中に他の方への迷惑となる行為はしないように心掛けてください。
金融商品取引法ⅠⅡの継続履修が望ましいです。
経済に関するニュースに興味を持って接していただけると嬉しいです。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス・金融商品取引法の概要
【第2回】　発行市場における虚偽記載等
【第3回】　流通市場における虚偽記載等その1　総論
【第4回】　流通市場における虚偽記載等その2　損害額の算定
【第5回】　流通市場における虚偽記載等その4　公表の基準・損害額の減免
【第6回】　金融商品取引業者その1　開業規制
【第7回】　金融商品取引業者その2　金融商品取引業の主体
【第8回】　金融商品取引業者その3　顧客の勧誘規制
【第9回】　金融商品取引業者その4　損失補てん等の禁止
【第10回】　公開買付
【第11回】　委任状勧誘規制
【第12回】　不公正取引の規制その1　インサイダー取引その1　規制の適用対象者、インサイダー情報
【第13回】　不公正取引の規制その2　インサイダー取引その2　公表の時期・インサイダー取引防止のための制度
【第14回】　不公正取引の規制その3　相場操縦等
【第15回】　まとめ
※進捗状況に応じて変更する可能性があります。